

岩沼出張所つうしん

第 49 号
平成 17 年 8 月 24 日
仙台河川国道事務所 岩沼出張所
岩沼市館下 1 丁目 2 - 9
TEL 0 2 2 3 - 2 2 - 2 8 0 1

8 / 16宮城県で地震 (岩沼市・亶理町・柴田町は震度 5弱)

8月16日11時46分頃、牡鹿半島の東南東80km付近を震源とする地震が発生しました。震源の深さは約42kmで、震源の規模はマグニチュード(M)7.2と推定されました。地震発生に基づき、岩沼出張所管内の河川管理施設状況を点検した結果、堤防、護岸、樋管、水門、阿武隈大堰等の施設には、特に大きな被害の発生は確認されませんでした。

「今回の地震時の加速度(ガル)は、S53年の宮城県沖地震時の加速度と類似しているが、震動の周期が宮城県沖地震時の5分の1程度の0.2秒が幸いし、家屋の全壊被害が少なかった。しかし、今回の地震は、想定した『宮城県沖地震』ではなく、国の地震調査委員会が発表した、今後30年以内に『宮城県沖地震』の発生確率99%は変わらない。引き続き警戒し、対策を加速させなければならない。」と報じています。被害が少なく、なによりでした。

学水館あぶくま岩沼館「開館から3万人を達成」

押分水門・押分排水機場工場のインフォメーションセンターとしてスタートした建物が、工場の完成と共にリニューアルされ、平成12年4月に「学水館あぶくま岩沼館」として生まれ変わりました。6年の歳月をかけて、平成17年8月10日に、3万人目のご来館者を迎えることができました。

3万人目のご来館者は、大村 稜威雄(いつお)さん、孫で4年生の祥希(よしき)くん、2年生の文彩(ふみさ)ちゃん、荒井 和輝(かずき)くんの4人です。学水館では、記念品を贈呈し、記念撮影を行い、3万人目のご来館者をお祝いしました。

学水館あぶくま岩沼館・角田館では、土曜日や日曜日も開館しています。阿武隈川の勉強や友だちづくりにぜひ遊びに来てください。アテンダントのおねえさんが、判りやすく説明してくれます。



3万人目は岩沼市の大村さん

押分排水機場・沈砂池で外来魚退治

夏休みも終わりに近づいた、8月23日(火)押分排水機場に接する沈砂池において、外来魚を退治するための地引き網漁を行いました。学水館のチラシ掲示で集まった子供たちや手伝いの人総勢約40人程度で地引き網を引きました。

獲物は、コイ約10匹、ニゴイ1匹、へらブナ約300匹、オイカワ1匹、ブラックバス約30匹、ブルーギル約100匹程度、ウシガエル(食用蛙)1匹の収穫がありました。(主催者調べ)大きさは、60cmのコイ、40cmのブラックバスが最大級でした。また、来年ももっと多くの子供たちを集めて行う予定です。

反省点として、口込みのため子供たちが集まらなかったこと、子供たちを遊ばせる時間が少なかったこと、大人の方が張り切りすぎたこと等が挙げられます。来年は、水門の吐口等に網で捉えたコイやへらブナを放して、子供たちにつかみ取りを行ってもらおう等の企画を考えたいと思います。

なお、捕まえたブラックバスは、3枚におろして食用に利用しました。また、ブルーギルは生ゴミとして処分しました。来年は、子供たちの歓声が響き渡るよう、準備を進めたいと思います。



上：地引き網引きの様子
下：網に入ったへらぶな他



阿武隈川水系河川整備基本方針（第7回）

第7回目は、「河川の総合的な保全と利用に関する基本方針」の2回目として、災害の発生防止又は軽減に関する記載です。この方針に基づく実施計画が、「河川整備基本計画」です。

仙台河川国道事務所では現在、この方針に基づき、阿武隈川狭窄部の「丸森地区」で、輪中堤の整備や宅地の嵩上げ等の新たな浸水対策、「水防災対策特定河川事業」を実施しています。また、河口部の右岸亘理町では、堤防の高さ不足を解消する、「堤防強化対策事業」を平成14年度から継続実施しています。阿武隈川左岸・岩沼市や角田市では、基盤漏水や堤防の法崩れを防止するため、止水矢板や腹付盛土を施工する「堤防の質的整備事業」を実施しています。

ア 災害の発生防止又は軽減

災害の発生防止又は軽減に関しては、沿川地域を洪水から防御するため、流域内の洪水調節施設により調節を行うとともに、阿武隈川の豊かな自然環境に配慮しながら、堤防の新設、拡築及び河道掘削を行い河積を増大させ、護岸等を施工し、計画規模の洪水を安全に流下させる。

阿武隈溪谷など狭窄部及び狭窄部上流等で連続堤の整備によることが困難な地域にあっては、輪中堤や宅地嵩上げ等により効率的に洪水被害の軽減を図る。一方、遊水機能を維持・確保すべき地域では、遊水地や輪中堤により従来の遊水機能を維持しつつ周辺集落の治水安全度を効率的に向上させる。特に、阿武隈川では、狭窄部において洪水時に家屋の孤立や道路の寸断等の恐れがあるため、洪水時における河川巡視の強化及び迅速な河川情報の収集と提供に努める。堤防、堰、排水機場、樋門等の河川管理施設の管理については、常に良好な状態に保持し、その機能を確保するように維持補修や機能改善を計画的に行うとともに、操作の確実性を確保しつつ、施設管理の高度化、効率化を図る。沿川の低地地域においては、下水道事業等関連事業や関係機関と連携・調整を図りつつ、必要に応じて内水被害軽減対策を実施する。また、地震防災を図るため堤防強化等を実施する。さらに、整備途上段階での施設能力以上の洪水や計画規模を上回る洪水が発生し氾濫した場合においても、被害をできるだけ軽減できるよう、必要に応じた対策を実施する。

土砂流出の多い支川荒川、須川、松川流域では、土砂供給と河床の安定に配慮した砂防対策を実施する。

また、近年多発する洪水被害を踏まえ、洪水ハザードマップの作成と広報等による認知の向上を支援し、情報伝達体制及び警戒避難体制の確立、地域防災計画や土地利用計画との調整、住まい方の工夫、氾濫しても被害を最小限にする対策等を関係機関や地域住民等と連携して推進する。

支川及び本川中上流区間については、本支川及び上下流間バランスを考慮し、水系一貫とした河川整備を行う。

．．．．． 用語解説 ．．．．．

輪中堤：限られた区域の宅地や田畑を水害から守るために、区域の回りに築かれた堤防

宅地嵩上げ：盛土により、実際に生活している建物の基礎の高さを上げて、浸水を防ぐ事業

あとかき

今年の旧盆前後の期間、岩沼出張所では、あわただしい事象が発生しました。8月12日には、三名生排水樋管での油流出事故、15日には雷雨による押分排水機場の警戒体制、16日に地震、15～20日にかけての阿武隈大堰の警戒体制等、夏休みの手薄な時期に、いろいろと試された気分です。今後の台風期にむけて、気を引き締めて事に当たるよう、神のお告げでしょうか。(^^)

「岩沼出張所つうしん」はインターネットでも見られます
仙台河川国道事務所ホームページ <http://www.thr.mlit.go.jp/sendai/index.html>